# 令和 6年度 事務事業マネジメントシート

#### 事業の基本情報

事務事業名	018	018 産業振興センターの管理・運営事業							
予算科目	01-070102-18 産業振興センター施設管理運営に要す					-施設管理道	担当部課	政策イノベーション部産業振興センタ	
市長公約								係名	
	IV-2	2	2	産業振興、	センターの	利用促進		新規·継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務(任意)
								事業体制	一部委託
個別計画	第2	期~	><	ば市スター	- トアップ戦	践略		事業期間	毎年度
									08働きがいも経済成長も
	つくば市産業振興センター条例						ana	09産業と技術革新の基盤をつくろう	
根拠法令等								SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよ

#### 事業の概要

1.70.00	
対象	スタートアップ、市民、学生、研究者等
目的	スタートアップの設立から事業化、その後の成長を一貫して支援する。
概要 (取組内容)	・起業・経営に関する専門的な情報提供・相談対応 ・起業・経営に関する意欲醸成のためのイベント・セミナーの実施 ・コワーキングスペース、事業支援室の管理運営 起業の各ステージで必要となる情報の提供や相談に幅広く対応することで、スタートアップへの一貫した 支援を行う。

## コストの推移

	2.7.1.5.4世区							1
項目				令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	予算額		(千円)	54, 843	55, 724	57, 449	57, 449	57, 449
事	事 決算額		(千円)	0	52, 764	53, 781	0	0
業		一般財源	(千円)	0	25, 159	24, 192	0	0
費	費一内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	27, 605	29, 589	0	0
	人件費計		(千円)	15, 381	7, 057	14, 922	14, 468	14, 468
人		正職員従事割合	(人)	2.00	1.00	2.00	2. 00	2.00
件費	牛 内 費 訳	正職員時間外勤務	(時間)	720. 00	61. 75	189. 50	270.00	270.00
貝	II/C	会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	無	無

#### 市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

### 指標の推移

	指標名	産業振興センター	の利用者数		(	人 )	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	100.0	5, 000. 0	7, 000. 0	7,000.0	7, 000. 0	7, 000. 0
1	実 績	2, 700. 0	6, 424. 0	10, 317. 0	10, 108. 0	9, 348. 0	9, 121. 0
	指標の 概要	産業振興センター	利用者の延べ人数				

	指標名	創業数			(	件 )	成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	4.0	4. 0	4. 0	4. 0	4. 0
2	実 績	1.0	10.0	14. 0	6. 0	12. 0	12.0
	指標の 概要	(IV-2-②地元企	業等の新たなチャ	レンジの支援)産	業振興センター利用	用者の中で新規創業	きした者 した者
	指標名	相談数			(	件 )	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	50.0	150. 0	150. 0	150. 0	150. 0
3	実 績	45. 0	135. 0	195. 0	163. 0	202. 0	181. 0
	指標の 概要	産業振興センター	における相談者数				
	指標名				(	)	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0		0.0	0. 0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(	)	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
) b	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

## 事業の成果と課題

3.7					
削牛度の課		筑波大生や国立研究開発法人研究者の利用促進については、筑波大学起業家育成講座との連動や研究者交流イベントの開催等を通じて、施設の認知度や関心の向上を図った。スタートアップ推進室との兼務については、運営受託事業者との連携を密にすることで効果的かつ効率的な運営に取り組んだ。			
成果		コワーキングスペース: 定期指定27/27席、定期自由48/48席、ドロップイン24者 イベント70回(ほぼすべて現地とオンラインのハイブリット)、参加者延べ3,537人 視察・内覧60人、延べ来館者数9,121人			
課	業務	筑波大生や国立研究会開発法人研究者の利用促進(継続)			
題 組織、 予算等		スタートアップ推進室との兼務(継続)			
改善目標		運営受託事業者と連携し、創業数の目標を維持する。			

# 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

# 方向性

方向性	継続
理由	